

静岡理工科大「3連覇を」

9月、エコパで学生自動車大会



大会出場に意気込む学生ら＝県庁で

全日本学生フォーミュラ大会(九月一〜五日、小笠山総合運動公園エコパ)に出場する県内の大学・専門学校

の三チームが九日、県庁を訪れ、大会をPRする。

県内から出場するのは静岡理工科大(袋井市)、静岡大(浜松市中区)と静岡工科大(静岡市葵区)。ガソリンエンジン

のICVと、電気自動車のEVの二部門があり、静岡理工科大は両部門に、ほかはICV部門に出場する。大会は国内の大学から七十五チーム、海外

から十五チームが参加予定。学生自らが設計、組み立てた車が集まる。騒音やブレーキ性能などの検査やデザイン審査を経て、コース走行や約二十キロの連続走行などの実走審査で得点を競う。

県庁では昨年の大会でEV部門二連覇を果たした静岡理工科大チームの車両を展示。チームリーダーの千頭和優斗さん(理工学部三年)は「EVで三連覇、ICVで五位以内を目指したい」と意気込みを語った。

静岡大チームの中西勇人さん(工学部二年)はICV十位を目標に掲げた。昨年は惜しくもトラブルで走行できなかった静岡工科大自動車大学校チームの永谷遼太さん(自動車システム工学科二年)は実走審査への進出を目標に掲げた。(今井智文)

この記事・写真等は、中日新聞社の許諾を得て転載しています